



すびっこ
美術館

とうがい村松宿こども園
野内琴葉ちゃん



お友達と遊んでいるところ

こども園で、お友達と遊んでいるところを描いてくれたのは琴葉ちゃん(5歳)。滑り台が大好きという琴葉ちゃんは、今、布を三つ編みして作る縄跳び作りを頑張っているようで、両手を広げて、「こんなに長くなったよ!」と話してくれました。

ぼくの夢
わたしの夢



夢は…。“鹿島アントラーズの選手”

村松小学校6年●小嵐怜旺

ぼくの将来の夢は、サッカーの鹿島アントラーズの選手になることです。ぼくが、幼稚園の時に両親から勧められたのがサッカーを始めたきっかけでした。小学校1年生の時にサッカー少年団に通い始め、とても楽しかったことを今でも覚えています。

その後、4年生の時に、お父さんから、「鹿島アントラーズのテストを受けてみないか」と言われ、挑戦しました。そして、そのテストに見事合格することができ、合格後はJリーグの試合を見に行く機会が増えました。

ある日、カシマサッカースタジアムで試合を見ていたら、とても楽しそうだな、カッコいいなと思いました。その時に「Jリーガーになろう!」と、強く思いました。将来は、スタジアムを沸かせるプレーヤーになりたいと思います。そのために今、ぼくは誰にも負けないようにたくさん練習して頑張っています。

わが家の子育てノート

表紙・吉成明日香

わが家は、夫と私、楓起(1歳9か月)の3人家族で、9月に第二子を出産予定です。

私は楓起の出産間際まで、村内の保育所で働かせていただいていた。毎日、子どもたちのにぎやかな声、ピアノや歌の音色が胎教にとっても良い環境だったので、充実した妊婦生活を過ごすことができました。そのおかげで、生まれてきた楓起は、歌や踊りが大好きです。

楓起は、予定日に生まれてきてくれました。初めての出産は難産で、19時間の陣痛の末に誘発分娩となり、へその緒が首に3周しながらも、元気に産声を上げてくれました。辛い環境の中、たくさんたくさん頑張ってくれた楓起。助産師さんに、「この状況で元気に生まれてこられたのは、すごいことだよ!」と言われました。その言葉を思い出すたびに、「元気に生まれてきてくれて、ありがとう」と感謝の気持ちで、涙が出そうになります。

そんな中、長堀すこやかハウスや育児サークルなどを通して、ママ友に出会うことができました。「同じママ1歳だからね」と悩みを聞いてくれたり、一緒に思い出をついたり、楽しく育児をできる環境があることをとても幸せに思います。

楓起は、遊びに行っても、ずっと私から離れないくらい甘えん坊なのですが、私のおなかが大きくなるにつれて、おなかの赤ちゃんに話しかけたり、ご飯をあげようとしたり、お気に入りのおもちゃをどうぞ、したりと、少しずつお兄ちゃんになると頑張っているように見えて、感動する日々です。

あと少しで4人家族になります。育児にとっても協力的な夫と、近くに住む私の家族、そして、支えてくださる皆さんのおかげで、安心して第二子を迎えることができます。感謝の気持ちを忘れずに、さらにすきな家庭を築いていきたいと思っています。また、子どもたちに、私が母で良かったと思ってもらえるように、たくさん愛情で育てていきたいと思っています。

